

早稲田大学 商学研究科
修士課程 入試問題の訂正内容

<一般入試>

【専門科目】

●問題冊子4ページ :[設問8] 2

(正)

このように、財の保有者数が経済主体の厚生に影響を与えるタイプの外部性をネットワーク外部性という。各消費者は最大でも1単位までしかこの機器を買わないものとして、以下の問に答えよ。

a) すでに財を保有している消費者の数が $m=10$ 人であるとする。このとき、11人目の消費者は、この通信機器を購入するだろうか。

b) m がいくつ以上になれば、すべての消費者がこの財を購入するだろうか。

(問題文の最後に上記を追記)

以上

2024 年 4 月/9 月 大学院商学研究科 修士課程入学試験問題 専門科目

注 意 事 項

1. 試験開始の合図があるまで、問題用紙および解答用紙に触れないこと。
2. 問題用紙および解答用紙はそれぞれ別の用紙になっている。
3. 9 題のうち 2 題を選択すること。
4. 少なくとも 1 題は、自分の志望する研究指導の分野に最も近いと判断される問題を選択すること。
5. 専門科目の答案は二次試験の参考資料とするので、それを踏まえて問題を選択すること。
6. 試験開始の合図後、解答用紙左上の指定された□内に選択した問題番号を、所定の欄に受験番号、氏名を次の数字記入例にしたがい、読みやすいように、正確に丁寧に記入すること。また、所定の欄以外に受験番号および氏名を記入しないこと。

【数字記入例】

正	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
誤	C	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
					4			7		9

7. 解答は、黒色または青色のインクのペンまたはボールペンを使用し、すべて解答用紙の所定の欄に最大 1 0 0 0 字程度（グラフまたは図を用いる場合の文字数は含めない）で書くこと。消しゴムで文字を消すことができるインクのペンまたはボールペンは使用しないこと。鉛筆書きは不可。
8. 解答用紙の裏面に記入してはならない。
9. 修正液または修正テープの使用は認める。
10. 筆記用具、修正液および修正テープは貸与しない。
11. 問題用紙および解答用紙は原則として取り替えない。
12. 解答は必ず 1 問につき 1 枚の解答用紙を使用すること

以 上

2024 年 4 月/9 月 大学院商学研究科

修士課程入学試験問題 専門科目

〔設問 1〕 経営専修 経営領域

以下のすべての問いに答えよ。

1. パーソナリティの5要素モデル(ビッグファイブ)とは何か。その5要素をそれぞれ説明し、その中で、個人のイノベーションのアウトプットを高めると考えられる要素をふたつ挙げ、その関係性を説明せよ。
2. 近年、経営者のパーソナリティ特性が企業経営に与える影響について研究が盛んである。その経営者のパーソナリティ特性と企業経営の関係性について、それを強める企業特性と、弱める企業特性をひとつずつ挙げ、その理由を説明せよ。
3. 組織は成熟するにつれ、同質的な価値観を有する個人で占められるようになっていく傾向が散見される。そのメカニズムを、個人の組織への参加と退出の観点から説明せよ。

〔設問 2〕 マーケティング・国際ビジネス専修 マーケティング領域

以下の全ての設問に答えなさい。

1. 製品戦略を進める上で検討されることのある計画的陳腐化について説明しなさい。
2. 新製品を市場導入する場合、一般的に企業が検討する2つの価格対応について説明しなさい。
3. インターナル・マーケティングについて、従業員満足という視点を取り上げて説明しなさい。

〔設問3〕 マーケティング・国際ビジネス専修 国際ビジネス領域

以下の問いすべてに回答しなさい。

- (1) 文化的距離とは何か
- (2) それはどのように測定されるか
- (3) 文化的距離が多国籍企業のパフォーマンスに影響を与えるとする理論を説明しなさい

〔設問4〕 金融・保険専修 金融領域

以下のすべての設問に答えなさい。

- (1) 資金貸借における「担保」と「保証」とはどのようなものか、またその機能は何か、それぞれ説明しなさい。また、これら「担保」と「保証」は、資金貸借において逆選択が生じる状況下で、逆選択にどのような影響をもつか、説明しなさい。
- (2) 資産価格バブルの発生メカニズムを、「合理的バブル」の立場、および、「非合理的バブル」の立場から、それぞれ説明しなさい。
- (3) 「安全資産で資金を確実に増やしつつある株式を原資産とするコール・オプションを買うことは、その株式を購入するとともにその株式を原資産とするプット・オプションを買うことと同じだ」という意見がある。この意見の正誤を、その理由とともに答えなさい。
- (4) モジリアーニとミラーは「企業価値はその資本構成によらず変化しない」という命題を導出した。この命題を成立させる前提条件は何か、説明しなさい。また、資本構成によって企業価値が変化する状況があれば、そのメカニズムを説明しなさい。

〔設問 5〕 金融・保険専修 保険領域

以下の全ての設問に答えなさい。

1. 企業がリスクマネジメントを効果的に進めるうえで重要と考えられる事項とその理由を述べなさい。
2. 保険事業については、いずれの国家も厳格な規制を設けている。保険事業に対する規制が必要な理由を説明しなさい。

〔設問 6〕 会計専修 財務会計領域

以下の全ての設問に答えなさい。

1. 有価証券の分類とその会計処理方法について、説明しなさい。
2. 負ののれんの会計処理方法について、説明しなさい。
3. 時価・公正価値の評価技法に用いられるインプット数値について、レベル1・レベル2・レベル3に分けて説明しなさい。

〔設問 7〕 会計専修 管理会計領域

以下のすべての設問に解答しなさい。

- (問1) 企業の組織構造の一つである事業部制組織について、他の組織構造(1 つでかまわない。名称を明記すること)との違いが明確になるように、内容および長所・短所を説明しなさい。
- (問2) 中長期の経営計画に関する以下の問いに答えなさい。
- (1) 中長期の経営計画を策定する際の方式の一つである固定方式について、他の方式(1 つでかまわない。名称を明記すること)との違いが明確になるように、内容および長所・短所を説明しなさい。
 - (2) 固定方式の長所・短所を踏まえ、固定方式を採用することが有用となる企業の状況を論じなさい。企業の状況として、たとえば、業種、経営環境、業績、経営戦略などが考えられるが、検討する視点は自由に設定してかまわない。設定する視点の個数も任意に決めて良い。
 - (3) 戦略管理会計ツールの一つである BSC(バランスト・スコアカード)について、中長期かつ会社全体での経営計画を現場レベルの業績目標に落とし込むための利用を想定し、その内容を説明しなさい。

〔設問 8〕 理論・計量専修／公共政策・経済史専修 ミクロ経済学領域

以下のすべての設問に解答しなさい。

1. 2財 $i = 1, 2$, 2個人 $j = A, B$ からなる交換経済を考える。財 1 は 20 単位, 財 2 は 16 単位存在し, 初期保有量は $(e_1^A, e_2^A) = (16, 8)$, $(e_1^B, e_2^B) = (4, 8)$ である (e_i^j は個人 j の財 i の保有量)。個人 A の効用関数を $u_A(x_1^A, x_2^A) = x_1^A x_2^A$, 個人 B の効用関数を $u_B(x_1^B, x_2^B) = x_1^B x_2^B$ とする (x_i^j は個人 j の財 i の消費量)。各財の価格を p_1, p_2 とし, 相対価格を $p = p_1/p_2$ とする。
 - a) 初期保有点 E をエッジワース・ボックス内に図示せよ。
 - b) 契約曲線 (パレート最適点の集合) を表す式を求めよ。
 - c) 個人 A の 2 財に対するそれぞれの需要量を相対価格 p を用いて表せ。
 - d) 個人 B の 2 財に対するそれぞれの需要量を相対価格 p を用いて表せ。
 - e) 市場均衡条件を用いて, 均衡価格比 p^* を求めよ。
 - f) 個人 A と個人 B が交換を行ったとき, それぞれの個人の財 1・2 の授受を説明し, 市場均衡をエッジワース・ボックス内に図示せよ。
 - g) 市場均衡はパレート最適であるか。

2. ある通信機器を生産する企業がある。この機器の生産には 1 台あたり 20 の平均費用を要する。企業はプライステーカーであり, この機器の価格は $p = 20$ に固定されるものとする。また, この市場には 100 人の消費者が存在している。各消費者が通信機器 1 台から得る便益は m であるとする。ただし, m はすでにこの機器を保有している消費者の人数である。すなわち, その通信機器の使用者数が多いほど, 新たにその財を買う消費者の便益は高くなるものとする。

〔設問 9〕 理論・計量専修／公共政策・経済史専修 マクロ経済学領域

以下のすべての設問に解答しなさい。

次のような長期モデルを考える。

$$C = 100 + 0.5Y_d$$

$$I = 190 - 500r$$

C は消費， I は投資， Y_d は可処分所得， r は実質利子率を表している。外国との取引は考えない。

- a. 潜在的産出量は 550，政府支出 G は 60，税額 T は 50 として，以下の間に答えよ。
 - (ア) 基礎消費 C_0 ，限界消費性向 c ，限界貯蓄性向 s をそれぞれ求めよ。
 - (イ) 政府の財政赤字の大きさを求めよ
 - (ウ) 長期における家計の可処分所得 Y_d を求めよ。
 - (エ) 均衡利子率を求めよ。
 - (オ) 財市場が均衡しているときの，消費と投資の大きさをそれぞれ求めよ。
- b. 政府支出が $G=70$ に増えたとする。
 - (ア) 政府支出の増加により消費と投資がどれだけ減少（または増加）するか求めよ。
 - (イ) 均衡利子率を求めよ。
- c. 政府支出が $G = 60$ のまま，増税により $T = 90$ となったとする。
 - (ア) 均衡利子率を求めよ。
 - (イ) 増税により，消費と投資がどれだけ減少（または増加）するか求めよ。
- d. $G = 60, T = 50$ のまま，技術進歩により潜在的産出量が 650 に増えたとする。
 - (ア) 均衡利子率を求めよ。
 - (イ) 消費と投資がどれだけ増加（または減少）したか求めよ。

—以上—



受験番号	
氏名	

This image shows a single page of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There is no text or other markings on the paper.

受験番号	
氏名	

This image shows a single page of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There is no handwriting or other markings on the paper.